

## 『オレ流』

伊丹市立総合教育センター  
所長 木下 誠

先日、『オレ流 人の活かし方』というテーマと講演者に惹かれて、元中日ドラゴンズ監督落合博満氏の講演会に行っていました。対談者（アナウンサー）の問いかけに、飾り気のない言葉で、笑みをうかべながらズバッと答えられるのですが、随所に「思慮深さ、目の付け所の違い、野球に対する真摯な姿勢」等が伺われ、その豊かな感性にどんどん引き込まれていきました。



私は、講演を聞くまでは、落合氏の代名詞となっている『オレ流』という意味を少し取り違えていました。世間の常識とかけ離れた独特の個性を持った方だと思っていたのですが、「監督とコーチのあり方、コーチと選手の関係、選手に求める姿勢」等の話を通して、組織の秩序、基礎的・基本的な事項を大変重んじられる方だということが分かりました。

会場が一番盛り上がったのは「阪神タイガース」の話題になった時です。「もし次期監督を要請されたらどうしますか。」という対談者の問いかけに、「関西人は私を受け入れないので、そのような話はないと思うが、その時は条件があります。」と話されました。「条件とは何なのか」、私には、大変関心がありました。「優秀な選手の獲得」を上げられるのではないかと考えていたら全く違いました。今の雰囲気を一掃し、戦う集団をつくるための「コーチ陣の整備」でした。所属選手を鍛え、戦力アップし、常に全力プレーをすることでお客さんに満足を与えるという考え方は、教育現場を預かる管理職にとっても、すごく参考になる話だと思いました。また、元大リーガーのキャッチャーを引き合いに出され、「ファーストとして使うという案もあるようだが、私が監督ならキャッチャーとしてもう一度再生を試みる。しかし、今のままでは使わない。誰よりも早くグラウンドに出て練習し、ブルペンで全投手のボールを受けるなど泥んこになって努力する姿勢が必要だ。」と話されました。そこには、個性のある選手を束ね、組織として機能させるという監督としての強いリーダーシップを感じました。

落合氏は、現役時代には首位打者・本塁打王・打点王・三冠王など数々のタイトルを獲得され、監督としても、4度もリーグ優勝を果たされましたが、講演に参加し、選手としても監督としてもこのような実績を残された「わけ」がよく分かりました。落合氏には、一流選手や指導者に共通する『揺るがない信念』と、常に『考えて行動する』という姿勢がありました。

# 平成24年度全国学力調査（傾向と対策） パワーアップの秘訣 ～中学校編～

先日、4月に実施された全国学力調査の結果が公表されました。平均正答率が毎年上位の秋田県は、今年も小学校の全教科、中学校も国語A・B、数学Bがトップでした。秋田県が好結果を収めている背景の一つに、全国学力調査問題を徹底的に活用(小学校99%、中学校94%)していることがあります。さらに問題分析に基づき、文部科学省がねらっている学力観に沿った授業が展開されています。

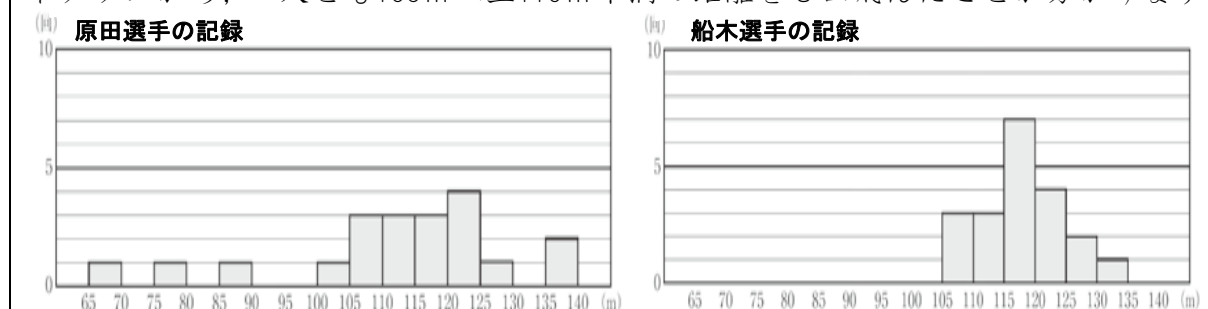
今回は、中学校「数学編」の出題傾向及び具体的な対策等を考えてみました。

## 数学B 問題

1998年生まれの美咲さんは、この年に行われた長野オリンピックで日本チームが金メダルをとったスキージャンプ競技に興味をもちました。この競技では、飛んだ距離の大きさと姿勢の美しさを競います。

美咲さんは、このときの日本チームの原田雅彦選手と船木和喜選手の飛んだ距離の記録について調べました。

下の2つのヒストグラムは、1998年シーズンの長野オリンピックまでのいくつかの国際大会で、二人が飛んだ距離の記録をまとめたものです。たとえば、このヒストグラムから、二人とも105m以上110m未満の距離を3回飛んだことが分かります。



### 問題の傾向

- ① 計算問題や方程式など、基本的なことをする。
- ② 資料やグラフから情報を読み取り、根拠を示しながら数学的な表現を用いて説明する。
- ③ 資料を自ら収集し、度数分布表やヒストグラムを作成する。
- ④ 図形を実際に描く。

### 克服のヒント

- ① 正の数・負の数、文字式等の計算を反復して行わせる。
- ② 相似形（縮尺）を活用し、実際の長さ・高さを求める体験をさせる。
- ③ 文章題を考える際、立式とともに途中の説明を記入し、他の人に説明させる。
- ④ 図形の見取図・展開図や投影図について、考察するだけでなく、実際に作成するなどして、作りについて理解させる。

## 求められる力

- ① 問題数が多いため、できる問題から取りかかる力
- ② 根拠をもって推測する力
- ③ 頭の中で立体を操作する力
- ④ データを元に自分の考えを説明する力

この問題では、**度数分布表**や**ヒストグラム**から分布の様子を捉え、代表値としてふさわしいものを**平均値**、**中央値**、**最頻値**などの中から**選択し**、**適切に判断**することが大切である。また、**説明すべき事柄とその根拠**の両方を示す必要がある。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 前ページの二人のヒストグラムから、原田選手と船木選手の飛んだ回数が同じであることが分かります。その回数を求めなさい。
- (2) 美咲さんは、もしこの二人がもう1回ずつ飛んだとしたら、どちらの選手がより遠くへ飛びそうかを、二人のヒストグラムをもとに考えてみたいと思いました。



二人のヒストグラムを比較して、そこから分かる特徴をもとに、次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を一人選ぶとすると、あなたならどちらの選手を選びますか。

下のア、イの中からどちらか一方の選手を選びなさい。また、その選手を選んだ理由を、二人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの選手を選んで説明してもかまいません。

ア 原田選手      イ 船木選手

例えば、上記の設問(2)で、**原田選手**を選択した場合は、「原田選手の記録の方が船木選手の記録より130m以上の階級の**累積度数**が大きい」ことを根拠にして説明できるようにすることが大切である。

**船木選手**を選択した場合は、船木選手の方が「安定しているから」、「範囲が小さい」、「最小値が大きい」など統計的な指標を適切に用いて表現することが大切である。

この問題は、**どちらの選手を選んでも**、その選手を**選んだ理由が適切であれば正答**としており、正解が一つでない問題である。

その際、資料を生徒自らが**収集し**、**度数分布表**や**ヒストグラム**を作成したり代表値を求めたりするなどして、**分布の異なる複数の資料を比較し**、**傾向を読み取って**問題解決に生かすことができるようにすることが大切となる。

## 今後の対策

- ① 問題数が多いため、できる問題から取りかかり、わかりにくい問題は後回しにする。
- ② 作図する時に、説明しながら図形を描く。
- ③ 実際にグラフを書き、法則やきまりに気づく。
- ④ 数式ややり方を覚える思考から、やり方を文章にして説明する思考への転換。
- ⑤ なぜそうなるかを理解し、定理を導く学習を十分に行い、仕組みを理解する。

# いじめ緊急アピール



大津市で昨年10月、中学2年の男子生徒が自殺し、いじめとの関連が指摘されている問題を受け、いじめ対策が再認識されています。

伊丹市・伊丹市教育委員会では、平成18年に全国でいじめにより、子どもたちが自らのかけがえのない命を絶つという痛ましい事件が相次いだことに大きな衝撃を受け、全小中高等学校にスクールカウンセラーを配置、小学校2校、中学校4校にふれあい相談員を配置、さらに、心の教育推進モデル事業、生徒会サミット、1/2成人式等の事業を実施し、この問題に全力で取り組んできました。

いじめは、いつでも、どこでも、誰にでも起こる可能性があります。子どもたちは、いじめが起きると、先生がどうしてくれるのかと見ています。子どもたちの安全・安心を守るのが教師の使命です。今一度、「いじめ緊急アピール」を噛みしめ、いじめを絶対に許さない風土を築いていきましょう。

平成 18年 11月 16日

## いじめ緊急アピール

—かけがえのない命を大切に— (概要)

### 1 子どもたちへ

**「友だち同士で助け合って、毎日、学校生活を楽しく過ごしていますか」**

人のいやがること、自分にされていやなことは、人にもしてはいけません。

人を絶対にいじめてはいけません。いじめを見過ごしてもいけません。いじめは人として、

**もっとも卑怯で恥ずべき行為**です。いじめられている仲間の気持ちをわかって下さい。

あなたの周りには、いじめに打ち勝ってきた人がたくさんいます。一人で悩まないで、自分の苦しさを、あなたの周りにはいる人に、相談してみてください。

**悩みを打ち明けることは、決して恥ずかしいこと**ではありません。

### 2 先生方へ

**「子どもたちは、学校で、毎日、明るく元気に過ごしていますか」**

もう一度、自分の学校・学級を、そして、子どもたちを見つめてください。

「元気のない子」「学校に来るのをいやがる子」はいませんか。一人ひとりの子どもたちを見つめ、声をかけてください。

いじめには、それを生む風土があると思います。「人として許されないこと」を、「思いやりの大切さ」「命の大切さ」を、子どもたちの心に響かせてください。そして、いじめられている子どもがいたら**守りぬいて**ください。

### 3 保護者の皆さんへ

**「子どもさんに変わった様子はありませんか」**

「おはよう」「いってらっしゃい」**明るい会話**がご家庭の中にありますか。

保護者にとって、子どもは目の中に入れても痛くない存在だと思います。そのメッセージを、子どもたちにまっすぐ伝えてください。

これだけはしっかり教えておいてください。いじめが絶対にいけないことを。

### 4 子どもたちを支えるすべての皆さんへ

**「皆さんの周りの子どもたちは、健やかに育っていますか」**

人をいじめている子どもがいたら、注意をしてください。いじめられている子どもがいたら、助けてあげてください。どうか、地域で子どもたちに**声をかけて**ください。

### 5 私たち、伊丹市民で、いじめのない社会をつくりましょう